

# みんなの議会

2021年11月  
第87号



## 威風堂々! 中学生議員

### 第3回定例会 ..... 2~7

- 令和3年度一般会計補正予算
- 一般質問を7名の議員が行いました。

### 臨時会 ..... 3

### シリーズ検証 ..... 7

第6弾



- 一般質問のその後を追う  
質問者 篠原議員  
「感染症対策に  
安心・安全を優先すべき」

### 議会の動き ..... 8~11

- 議会改革 議会モニターの意見箱
- 総務民教建設常任委員会 意見書
- 産業福祉常任委員会 意見書
- 北空知議長会 JR北海道を応援

### 決算特別委員会 ..... 12~13

令和2年度決算について

- 一般会計
- 総括質問
- 一般会計・水道事業会計意見

# 令和3年 第3回 定例会

## 9月16～17日

◎手数料条例の一部を改正する条例について

◎特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

◎北海道沼田町ゼロカーボンシティ宣言について

◎沼田町は脱炭素社会に向けて2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指す宣言をしました。(詳細は10ページ)

### 令和3年度補正予算

#### 〔一般会計〕〈主な内容〉

◆民生費

●子育て支援費国庫補助金の返還金 188万円

●農産加工場製造費 70万円

◆農林水産業費

●指定管理している加工場の壁等の修繕費 70万円

◆教育費

●社会教育推進事業費 75万円

●本願寺駅通の修繕費

●生涯学習センター費 78万円

●冷温水ポンプ修繕費

●スキー場管理費 270万円

●スキー場圧雪車修繕費

◆衛生費

●沼田厚生クリニック運営費 7450万円

●町立沼田厚生クリニックの損失助成金

●財源は、地域医療確保安定化基金繰入金と今年度から過疎対策事業債(クリニック損失助成債)を使用。

●そのうち、過疎対策事業債(損失助成債)を令和7年度から15年度まで返済。

●その財源は普通交付税と減債基金を充てる予定。

◆諸支出金

●減債基金積立金 2520万円

●厚生クリニック損失補填財源の過疎債の元金償還に充てるため、基金に積立

●商工業費

●商工業振興費 288万円

●町内特産品味わい巡り事業

#### 特産品味わい巡り事業

本町の特産品である

- 雪中米
- 雪なごり
- トマトジュース
- トマトケチャップ

を商店で購入または飲食時にポイントがたまるスタンプラリー形式のイベントで、消費拡大と景気回復を後押しする。

#### その他決議案

- 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書
- コロナ過による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- 国土強靱化に資する社会

#### 主な議案

◎過疎地域持続的発展市町村計画について

9月16日から17日まで令和3年第3回定例会が開催されました。

町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、議案審議のほかナイターも合わせて7名の議員が一般質問を行いました。

令和2年度一般会計・特別会計と水道事業会計の決算審査については、決算特別委員会を設置して集中審査をすることとしました。

#### 過疎債一〇メモ

過疎対策事業債は、過疎地域とされた市町村が、過疎地域自立促進市町村計画に基づいて行う事業の財源として認められた地方債であり、その元利償還金の70%は普通交付税の基準財政需要額に算入される。

沼田町議会  
QRコード



#### 表紙の写真

11月4日に開催された子ども議会。沼田中学校の生徒が町長に一般質問を行いました。

#### 同意案件

沼田町教育委員に沼本綾氏の任命に同意しました。

資本整備等に関する意見書



# 補正予算の主な議論



**問** これまで、沼田厚生クリニックの損失助成を基金から支出していたが、今年から過疎地域自立促進特別事業、過疎ソフト「地域医療の確保」で起債を起し、償還分を減債基金に積むようにした理由は。

PR、消費拡大ということでご理解いただいています。



**問** 「特選品味わい巡り事業」を持

続可能なものとするために町内と町外セットで販路を求めると魅力的だが、その準備はされているのか。



**問** 「特選品味わい巡り事業」委託

料の出所が中山間地域活性化事業であり、景気対策というなら本来の趣旨とは違うのではないか。

**副町長・農業推進課長**

中山間協議会の協力を得て、地元「雪中米」などの



今回の定例議会の傍聴者は、20名でした。  
みなさまの傍聴をお待ちしています。

## 傍聴席の生の声(女性)

日中の議会では仕事のため傍聴することが出来ないの、夜間の傍聴は参加できて良かったと思います。町民として希望することが沢山ありますので、もっと議会で取り上げてもらうために議員さんとの対話が必要だと思いました。

①異常気象の件、今年は本当に異常でした。これからもこんな気象があると思うのでこの質問は良かったと思います。

②工業団地の件は、まだまだ伸びしろがあると思いますので期待します。

③町民体育館の件は、この先色々考えさせられました。『町民が楽しく笑顔で住むことが出来るよう期待します。』

**副町長・産業創出課長**

・スタンプラリー形式で町民を中心に考えていますが、町外も対象としています。

・東京大手町でアンテナショップを計画していましたが、コロナ禍により開催に至っていないことをご理解ください。

## 第6回臨時会

令和3年8月6日

・ぬまた町元気応援商品券配布事業 1590万円

## 第7回臨時会

令和3年9月30日

・安心センター補強工事費を承認しました。 797万円

・安心センター補強工事に関する特別職の給与に関する条例の一部改正

3月に安心センター木梁のひび割れが発生し、修繕補強工事がされることになりました。この施設は「雪を下ろさなくていい建物だ」と町民、議会に説明されました。町長、副町長の10月給与の10%減額が提案され、採決の結果、否決しました。



**問** 設計、建築、

生時は、現町長の体制ではなかった。その時点で対策を打っていれば、こうはなっていないはずだと思

う。町長、副町長が責任を感じる必要があるのか。



**問** 給与を削減すれば良いというも

のではない。それよりも、もっと力を入れて町政の執行役として頑張ってもらいたい。



令和2年度の雪害による原因の調査、確認、報告を受け、私

の管理不行き届きであり、町民に不安を与えたと判断し、給与減額を提案します。

## 給料減額案の採決結果

賛成3



反対6



## 町長への一般質問

**問** コロナ差別を起こさないために

町長答 あらためて町民に周知していききたい

教育長答 いじめや差別がないよう取り組む



篠原 暁  
議員

接種率は91%です。接種しないことへの差別があつてはならないのは当然のことと、誹謗中傷に関することを「コロナ対策お知らせ版」で周知してきました。

**問** 児童生徒を含めた最終的な接種見込みと、接種を受けなかった町民を含め接種が終了した町民に、今後どのような対応をするのか町長に聞きたい。

差別やいじめを防止するために児童生徒にどのような指導を行うのか教育長に聞きたい。



児童生徒を含め接種対象者における

接種後も引き続き感染防止対策に取り組んでいただけるよう今後は、「ふるさと創造懇談会」の開催に向けて準備を進め、周知していきます。

**教育長**

ワクチン接種に関する差別やいじめ防止に関して道教委が、児童生徒と保護者向けに作成したリーフレットを配布しています。また、

### 篠原議員のそのほかの質問

**問** 沼田版の再生エネルギー利用の取り組みは

答 国の支援策を注視し検討を行う

道徳の授業や学活において指導を行い、生徒会活動においても意識づけを高めるように取り組んでいます。中学校では月1回アンケートを実施し、悩みや不安を察知できる体制をとっています。小学校ではコロナ関係のいじめを絶対にゆる

さないという校長の意志を学校便りで伝えていきます。一方通行ではなく、空知子ども会議を通じて、メッセージやポスターコンクールで発信しています。先生方も情報収集を行い、いじめや差別がないよう取り組んでいきます。

### 問 学校にエアコンの設置を

答 改善に向けて前向きに検討していきます



伊藤 淳  
議員

二点目に、酷暑の中、災害が発生し、小学校の避難所が開設された場合、今の雪冷房で対応できるか。

三点目に、小学校に大型発電機は設置されていないが、ブラックアウト時の電源確保として太陽光発電を選択できないか。

文部科学省の概算要求に示される学校整備事業の活用で空調設備、太陽光発電の設置はできないかを町長に聞きたい。

**教育長**

教室内気温30度以上が18日ありました。様々な暑さ

対策を講じましたが、有効とは言えませんでした。エアコン設置は、マスクを義務付ける中、有効な方法と感じています。教職員の働く環境も同様です。



児童保育所は、防犯上や児童の安全

要だと思えます。

避難所の主会場となる体育館の雪冷房対応は設計上難しいと判断しますが、ダクトの切替で可能な箇所もあります。

電源確保は、燃料式発電機を想定しています。電力供給を太陽光発電だけで対応することは投資効率から見合わないと思われ、新たな国の動向を見て判断したいと考えます。



マスク着用で授業を受ける児童





自伐型林業の実現に向け

部実施できないか検討を進めている段階です。地域おこし協力隊からの提案受けながら実現に向けて協議を行っています。中山間地域の特性を活かし、地域と連携した六次産業化など森林の多目的活用が期待でき、若い方

**問** 沼田町の町有林は山林の3%で688haの広さがあり、これらを自伐型林業で進めてはどうか。小さな林業は、現在の森を間引きするように一定のサイクルで間伐を繰り返すことにより植林の必要もなく、木が今まで以上に育つ。環境性・経済性でもメリットがあり、自伐型林業により



長野 時敏 議員

**問** 町有林の活用で定住人口アップを  
**答** 自伐型林業の森林整備を検討している

元気な森の状態にでき、二酸化炭素を吸収し、土砂災害防止や水源かん養に役立って行ける。経済性の面では、切った材を加工販売して実際にふるさと納税の返礼品成功例も出ている。可能性が大きい自伐型林業なので展望を聞きたい。



沼田町の町有林は人工林と自然林に分かれ、人工林は引き続き適切に管理していきます。自然林は二酸化炭素の吸着量を増やすので、小規模林業事業者による自伐型森林

整備を、来年度から一部実施できないか検討を進めている段階です。地域おこし協力隊からの提案受けながら実現に向けて協議を行っています。中山間地域の特性を活かし、地域と連携した六次産業化など森林の多目的活用が期待でき、若い方

2点目は冬期間を過ごしやすくするために高齢世帯除雪費助成要綱の見直しと除雪機、除雪道具費の助成をしてはどうか。現在の助成対象者は、在宅で除雪作業を自力で行うことが困難な高齢者であり、昨年の実績は179軒だった。支給対象者は非課税世帯と均等割課税世帯で、見直しはで

**問**

新型コロナウイルス感染症のお知らせ版は、テレビや新聞と町民向けの情報を区分けし、基本的な対策の徹底を進めるためにも、視認しやすいポップ調の広報を作成してはどうか。



大沼 恒雄 議員

**問** 住み続けてもらう生活環境の向上を  
**答** 住民と連携し環境美化に努めたい

からリタイア層など幅広く林業に就業できるチャンスがあり、産業創出や関係人

口定住人口の増加にも期待されるので支援環境を整えていきたい。

3点目に道路の、特にインターロッキングで草が生えて景観が良くないので、道路維持管理の考え方を聞きたい。

4点目に、公安委員会指定の交通標識が設置されていても見落としやすいことがある。交通事故から町民の命を守るとい視認しやすい標識の作成を沼田町で出来ないか。



コロナに関する広報ですが40回以上発行し、正しい情報が伝わったものと思います。感染予防対策のマスク着用など、いつも心得ていただくためのポップ的な表現は検討したいと思います。

2点目の除雪関係は、高齢者の方々がいつまでも暮



雑草が目立つ歩道

インターロッキング

らせるための独自事業と位置付けています。利用状況を検討し要綱の見直しを含めて調査します。排雪場所の確保は11月頃までに周知あるいは排雪業者の指導なども含めて対応します。

3点目の道路の維持補修と草刈り除草については、民間事業者が業務委託をしています。歩道についてはインターロッキングを採用しているところが多く除草が行き届かない場所があるので、地域の景観を損なわないような対策を町内会と検討して行きたい。

公安委員会が設置する交通標識を補完する看板については、必要性を協議した上で検討します。

**問** 異常気象で影響を受けた農業への支援策は

**答** 収穫後の状況を見て対応する



畑地 誉  
議員

**問** 今年の夏は平均気温が平年に比べ異常に高かった。降水量も少なく、百年に一度の少雨と猛暑と言われる。異常気象が多く、の農畜産物に影響し、畑作3品だけでも4千万円以上の減収が予想される。

米価下落の影響も大きく、私の試算では町全体で3億円以上の経済的損失が予想される。コロナの影響と低米価のダブルパンチに加え、異常気象の影響に農家は不安を抱えている。

異常気象による農業への影響、農家への独自の支援策を長期的視点に立って町長に聞く。



今年の影響は甚大ですが、品薄感からの高値予想など、今後

に期待する部分もあります。安心して営農できる支援策に関しては、所得確保を含めて国に実情を伝える要請活動を準備中です。また、本年度は水稲種子購入に要する経費の一部助成に対応しました。さらに、新たな栽培技術導入による高収益作物の取り組みも促進して



干ばつの影響で生育不良のまま収穫を迎えた大豆

500mlペットボトルとの比較

います。

農家の皆さんが異常気象の影響に備えてもらうためには、農業共済あるいは収入保険の加入について関係機関と連携して取り進める必要があると考えます。

**農業委員会会長**

転作作物の選定について

は、新たな作物を求めるとして、既存の作物の栽培技術向上で良質・良食味のものを生産していくことが重要です。

本町の稲作における飼料用米の作付け拡大は、北海道の米作りの中心である北空知の現状を考えると、慎重に対応すべきと思います。

**問** 工業団地への誘致のあり方

**答** 立地条件の良さを活かしたい



上野 敏夫  
議員

**問** 沼田町工業団地も、当初は地元の建設会社が始まり40年以上が経過した。今は残り区画がほとんどない状況になっている。沼田町が企業誘致に力を入れる中で、用地が不足している問題を町長はどう考えているか聞きたい。

にアンケートを送っているが、もっと有効な方法で誘致できないか。例えば沼田にある自然資源を使った研究所を誘致してはどうか。また、全国の若者が興味を持つているスイーツの学校設立について実際に構想を持つている社長がいる。新たなスイーツを沼田町から発信してもらうのはどうか。米を粉にすると長期保存ができる。地元の米粉で新たな商品開発をすることもできる。多くの沼田町出身者に対象を絞り、そのような取り組みについてアンケ

ートを取ってはどうか。

沼田町は高規格道路ができたことにより留萌港からの輸出にも有利になった。沼田町に合った企業誘致の今後について町長の考えを聞きたい。



工業団地の空き区画は分譲地として

では少ない状況にあり、緑町の町有地を有効活用することを考えていきます。

誘致企業選定に当たっては食料品製造業を最優先にし、次には情報通信企業を設定しています。

地道な活動により実を結んだ企業誘致ですので、立地条件の良さも活かしてさらに充実した取り組みを行います。





**問** 新「町民体育館」を町民が集う場へ  
**答** 中学校との併用の可能性を調査する



久保 元宏  
議員

**問** これからの施設は町民誰もが集えるものにならなければならない。そのため、町民体育館の準備会を早急に設立し、室内スポーツ関係者の声を聞く必要がある。安心センター横に体育館を建てれば、このエリアで健康をテーマにした空間ができる。

中学校の体育館については、小学校体育館を共同で活用し、社会教育と分けて考える方が自然ではないか。小中合同運動会もその延長線上にある。

最後に、沼田町出身者が関わる企業やスポーツ実業団などに、ネーミングライツで協力してもらう計画はあるのか。町長、教育長の考えを聞きたい。



老朽化が進む町民体育館



準備会が今すぐに必要とは思いませんが、将来を語り合う場で意見を聞くことは必要だと思います。

町民体育館については財政の現状を踏まえ、令和5年度以降に中学校体育館との合築の可能性も含めて検討していきます。

**教育長**

町公共施設等総合管理計画では、中学校体育館を改築して町民と共同利用すると説明しています。道外には学校と市町村が併用している例もありますので、調査して検討したいと考えています。

公共施設における企業との連携はまだ検討していませんが、ネーミングライツを新たな財源として検討する必要性は感じます。

**解説 「ネーミングライツ」とは**

日本語に訳すると「命名(ネーミング)権(ライツ)」となり、公共施設の名前に企業名やブランド名を付ける権利のことを指します。これにより、自治体は広告収入を得ることができます。日本では2003年に「東京スタジアム」が「味の素スタジアム」に変わったのが最初とされています。

シリーズ検証

一般質問のその後を追う

第6弾

議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。シリーズ第6弾は令和2年9月の定例会における篠原議員の一般質問です。横山町長に迫ったコロナ対応の結果はどうなったのか。



質問する篠原議員

**問** 感染症対策に安心・安全を優先すべき

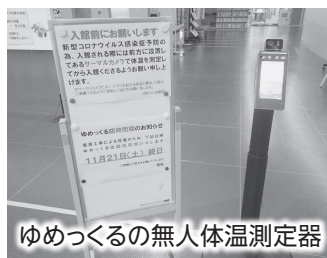
篠原 暁

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、役場や公共施設を利用する際に簡単に体温測定ができれば町民の安心につながる。タブレット型の体温測定器の導入を優先事項として検討することはできないか。

**答** 役場入口に消毒液を設置し、定期的な換気も行っている。無人体温測定器は考えていないが、安価な物も出ているようなので調査して検討する。

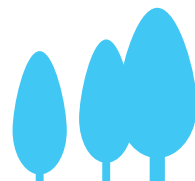
★その後の対応

質問から1ヶ月後の第7回臨時会においてタブレット型無人体温測定器設置の補正予算が提案され、ゆめつくる、暮らしの安心センター、厚生クリニック、ほたる館源氏の宿・平家の宿の5カ所で体温測定ができるようになりました。



ゆめつくるの無人体温測定器

# 議会を目指して



8月25日に開催された議会改革特別委員会では、主に3項目について検討しました。



議会改革特別委員会の様子

## ① 町民へのアンケートの実施について

議会の活性化や議員のなり手対策などをテーマに町民の皆様の意見を募り参考とさせていただくためにアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

## ② ICTの取組について

インターネットでの情報収集が日常化する中、議会

においてもインターネット中継やSNSを利用した情報発信がなされ始めています。

発信内容の精査や手法について議論を行い、今後引き続き検討したいと考えます。

## ③ 議会BCPについて

BCP（業務継続計画）について、災害時や感染症などの不測の事態における議会の対応について資料の説明をもとに情報収集と検討を行いました。

## 議会モニター会議

8月20日と23日に議会モニター会議を行いました。

これまでの議会改革の進捗状況の説明を行い、SNSの活用と女性や子育て世代が議員として活躍するには、「社会や家庭の理解がないと難しい」などの意見が出されました。

## 議会モニター意見箱

沼田町議会モニター代表 **長原 誠**

令和2年8月に議会改革特別委員会に於いて、沼田町議会モニターが設置されその後、公募が行われ10名の町民が令和2年8月29日に議会モニターに委嘱されました。

現在まで、議会改革特別委員会の皆様と共に議会モニター会議への参加、定例会の傍聴などをしました。議会改革の取組内容も議会の運営から議員の定数、報酬など20項目が示され、そのことについて検討を重ねております。

会議の当初は、議員の皆さんとモニターの間に距離感がありましたが、会議を重ねることで発言も活発になり、積極的な意見も出されるようになってきています。

町民に開かれた議会を目指すには、やはり町民との意見交換の場を持つことが必要と考えます。

議会改革特別委員会では様々な取組が示されています。町民の皆様も議会モニターに応募して議員の皆様とともに町づくりについて話してみませんか。





議会改革特別委員会

# 町民とつながる



大型モニターを利用した一般質問

## 大型モニターで町民とつながる

議会への関心を高めたいという考えから、大型テレビモニターにグラフなどを映して傍聴者に分かりやすく内容を伝えようと、一般質問で活用しました。今後は、議場だけでなく、リモート会議や研修など幅広く利用していきます。



ナイトー議会での傍聴席

## ナイトー議会で町民とつながる

平日の日中に行われる定例会では、傍聴が出来ない町民の方も多くいることから、昨年引き続き「ナイトー議会」を第3回定例会にて開催しました。午後6時からの開始に合わせ、仕事を終えて訪れた方も見受けられる中、3名の議員が一般質問を行いました。

今後も多くの方の町民の方に傍聴していただけるよう、創意工夫をしていきます。



教室のモニターで一般質問を中継

## 中学生と議会がつながる

11月に行われる「子ども議会」を前に定例会での一般質問の様子を中学校にリモート配信し、3年生の生徒の皆さんに議場の雰囲気伝える取り組みを行いました。

教室で生徒の姿を見守る米倉校長からは、「身近で自分たちに関係する話題を議論する大人の姿は、普段触れることの少ない政治や議会を体感し学んだことで、社会に対する責任と自覚が出てくるのでは」と感想をいただきました。



議会改革への思いを語る小峯議長

## 議会と議会がつながる

7月29日に新十津川町議会から10名の議員が来庁されました。議会改革特別委員会が中心となり進めている議会モニター制度や議会サポーター制度、タブレットの導入についての研修を行い、沼田町議会が議会改革に取り組んだ経緯の説明をもとに互いの議会による改革についての意見交換を行いました。

## 総務民教建設常任委員会

## 所管事務調査「地球環境対策について」

## 中間報告書からゼロカーボンシティ宣言までの動き

- ①総務民教建設常任委員会では所管事務調査項目の地球環境対策について、広範囲で長期間の調査になるので、令和3年3月の第1回定例会において中間報告を提出しました。
- ②その要望の一部に、2050年温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティの宣言」を望むと提言しました。
- ③その後、常任委員会において引き続き議論がされ、6月の第2回定例会において、脱炭素政策を加速させたい思いから一般質問を行うことで意見が一致しました。
- ④常任委員会からの代表質問の意味合いを込めて一般質問で「ゼロカーボンシティ宣言」を再度要望しました。
- ⑤町長をはじめ職員による内部会議を経て9月の第3回定例会での宣言になりました。

空知管内では初めての宣言であり、今後の計画で再生可能エネルギーによる事業展開にも期待が寄せられています。



## 意見書

## 高校生の通学定期代割引負担を国に求める意見書

我が国では多くの生徒が高等学校に進学する状況の中で、中学生には進学先として多くの選択肢を与えなければならないと考えるが、北海道が進める公立高等学校配置計画案での廃校や間口減によって、その選択肢は狭まっている。

北海道の特性上、JRを利用する高校生の通学者は多く、通学時間が長時間になるため特急券の利用も併用している。

高等学校教育の選択には、保護者の経済格差に加え、教育機関との距離的格差も生じている状況にあり、地元で高校が存在しない自治体にとっては、重要な課題である。

通学距離の格差や通学手段によって子どもたちの学校での部活動や学習時間への影響を最小限にする為にも各交通機関の維持は重要である。

また、通学による家庭への経済的な負担は、JRなどの割引率が高い通学定期券によって軽減されている現状にある。

距離制の運賃体系により、住んでいる地域によって交通費が異なるとはいえ、交通手段の違いで負担額に大きな差が出ては、教育の機会均等の問題にもなりかねず、加えて、国が提唱するそれぞれの地域で住みよい環境を確保し、活力ある日本社会の維持を目指す「地方創生」の推進の足かせになりかねない。

通学定期の割引販売が教育政策の一環として始められたのであれば、その割引コストは交通事業者が負担すべきものではなく、国が教育予算として補うことが望ましいと考える。

上記のことから、通学定期代の割引コスト負担は各交通事業者任せではなく、国の予算で補填するように求める。



意見書について説明する大沼委員長



北空知議会議長連絡協議会 会長 佐々木 康宏 様  
沼田町議会 議長 小 峯 聡

## 要 望 書

### 1. オール北空知での応援メッセージを

J R留萌本線存続に向けた活動として、北空知1市4町の議会が結束力を示し、住民に向けた応援メッセージを発信するよう要望します。

### 2. J R北海道応援イベントの開催

「J R北海道応援イベント（仮称）」を既存の事業やイベントのタイトルに加え、情報の共有と事前周知に努め、地域住民の関心を高める活動を行政に働きかけるよう要望します。

産業福祉常任委員会では、留萌本線沿線自治体だけでなく、妹背牛町と北竜町を含めた北空知1市4町の共通理解と連携を深めるために、次のような要望書を北空知議会議長連絡協議会に提出し、賛同を得ました。



北空知議会議長連絡協議会に要望書を提出

産業福祉常任委員会

## 意見書

### 米の需給と持続可能な地域経済対策に関する意見書

米を巡る情勢は、人口減少や食生活の変化などにより米の消費減少が加速する中、新型コロナウイルスの影響で中食・外食重要が減少し、主産地の豊作も相まって民間在庫の滞留が深刻化している。

については、農業者及び農業関連産業が次年度以降も安心して経営を継続するため、交付金のあり方や補助制度の見直しと、コロナ禍による過剰米に対する市場隔離等を行い、需給調整を消費者に委ねている現状の米政策を国が積極的に関与し役割を果たすよう強く求める。

#### 1. 米の需給・価格安定に向けた対策の実施と米の消費拡大

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用米などの消費が大きく減少し、需給が緩和していることから、需要減少分に対しては国が政府備蓄米を追加で買い上げるなど市場隔離等を行うこと。

#### 2. 持続可能な農業経済対策の実施

農業において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の割当と、経営持続補助金を生産規模や事業内容を勘案して実施することにより、次年度以降も生産可能な農業の維持を講ずる。

#### 3. 地域に合った経営基盤の強化

農業資材や農機具及び施設に対する費用が高騰し、スマート農業の推進や次世代に向けた環境整備の妨げになっている。現在、実施されている経営体育成事業の強い農業・担い手づくり総合支援交付金は採択要件が厳しく地域の中核的役割を担う農業者であっても採択されにくい状況である。リース事業も導入し、地域の実情に即した要件に改編し、先進的な農業を低コストで実現できる政策を講ずること。

#### 4. 政策的食料流通備蓄基地構想の実現

需給調整の対策として、主食用米を市場隔離する目的だけでなく、大規模災害の備えやODAでの援助米として国際貢献に活用することができる。そのためには大規模な貯蔵施設での保管が必要であり、沼田町は雪冷房を利用した米の保管に実績があることから、環境に配慮した備蓄基地に適している。



# 決算特別委員会

令和2年度決算  
全会一致で認定される

令和3年10月21日～26日

委員長 鵜野 範之  
副委員長 篠原 暁



挨拶をする鵜野委員長

## 一般会計

- ◎歳入決算額  
55億7931万円
- ◎歳出決算額  
54億4020万円
- ◎実質収支額  
1億3720万円
- ◎町債残高  
36億3424万円
- ◎基金残高  
36億188万円

## 総括質問

### 世界に発信プロジェクト



世界に発信プロジェクトという名称をキャッチフレーズだけで終わらせず、雪水桜などの情報発信で知名度を上げて、稼ぐ力につなげることはできなかったのか。



雪水桜の技術を利用した花卉の生産は、市場の需要もあります。商標登録も含め、事業

展開上でキャッチフレーズは必要です。



雪水桜の技術は沼田町しか持っていません。これをファイターズのボールパークに展示してもらえば利雪技術のPRにもつながる。



積み重ねた知見を残すためにも、町民の皆様の手も借りながら今後も雪水桜に取り組み、将来はビジネスに結びつけたいと思います。

### ふるさと納税



同じ状況下で納税額が半減したのは沼田だけ。受付体制整備よりも知名度アップが先ではないか。また、担当部署の変更のような大胆な対応が必要ではないのか。



様々な対策を取ってきたが結果として数字が伸びませんでした。知名度ということでは、我が町のふるさと大使等の協力を受けるなど、見せ方の

工夫が必要なのではないかと思えます。

### 関係人口



町民のニーズが地域おこし協力隊の人選に活かされていたのか。関係人口を増やすために、町内外の協力隊OBにどんなフォローをしてきたのか。



いろんな分野の協力隊員も元をたどれば町民ニーズに基づいていると言えます。OBのネットワークはあった方がいいので、後押しはしていきます。

### 非常用発電機



2年度に設置された非常用発電機の活用について、災害はいつ起きるかわからないので、緊張感を持った運用をしてほしい。3カ所に設置されている発電機の統一した運用ルールがないのはなぜか。



非常用発電機は災害時に施設の誰

もが操作できるようにしているし、定期点検も行っていきます。統一したマニュアルは今後作成します。

### 郷土資料



化石に比べると郷土資料の活用が進んでいない。空きスペースに展示するなど、今すぐできる工夫の余地は残っている。



どこに展示するかというより展示のストーリーを大切にしたい。それは今の状態でもできるのではないか。



大切な財産なのでしっかりと保存をしておかなければなりません。現在建物の一部を借用していますが、今後に向けて研究・展示できる環境を整えていきます。

教育長 これまでも各施設を利用した展示は進めてきたが、学芸員に力を発揮してもらいたい対策を考えていきたい。

災害時に施設の誰





答弁をする横山町長

地域の資源を活用して稼ぐ力を付けるための準備をしてきました。将来サポートしてもらう人材育成を行ったというところをご理解いただきましたと思います。ほたる館とは自然を活かした体験メニューを取り入れた宿泊パックなどで連携していきます。



地域の資源を活用して稼ぐ力を付けるための準備をしてきました。将来サポートしてもらう人材育成を行ったというところをご理解いただきました。

設立準備予算がほぼイベントで消費された。収益化やほたる館との連携についてどのように進めたのか。

まるごと自然体験プロジェクト

## 令和2年度 沼田町一般会計等歳入歳出決算認定意見の集約

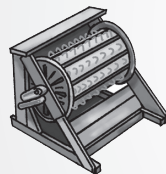
令和2年度の決算を認定するに当たり、決算特別委員会として次のような意見をまとめました。

### 1 沼田町のブランド力向上

ふるさと納税寄付額の増加や移住希望者に移住先の候補地として沼田町を選んでもらうためには、さらなる知名度のアップが必要です。雪冷熱エネルギーの利用による雪氷桜など沼田町のオンリーワン技術や財産を活かすと共に、地域おこし協力隊OBとの連携を続けることで発信力を向上させる取り組みを引き続き望みます。

### 2 郷土資料の適切な管理と活用

過去の産業や文化の遺産は、沼田町民のみならず貴重な人類共通の財産です。これを後世にしっかりと伝えるために、いつでも資料に触れることのできる保存環境とシステムの整備を早急に行うと共に、多くの遺産を結びつけるストーリーづくりが必要です。



暮らしの安心センターに展示された雪氷桜



郷土資料の仮収蔵状況

## 令和2年度 沼田町水道事業会計歳入歳出決算認定意見の集約

令和2年度においては、これまで80%以上を維持してきた有収率が、前年度より9.3ポイント下がり71.4%となった。これは水道管の老朽化による漏水が原因と言える。将来負担を考え、老朽化した管の改修などに加え、速やかな漏水対策を望む。



## 退職議員との交流会

毎年恒例であります退職議員とのパークゴルフ大会が10月19日に20名の参加で行われました。

残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は中止となりましたが、今回も退任議員会が優勝となりました。



川邊会長から優勝の記念品を受け取る津川氏

### <成績発表>

団体の部		退任議員会		スコア	
優勝	退任議員会	津川	均氏	53	
個人賞		野道	夫氏	54	
優2位		山木	一男氏	55	
3位		大沼	恒雄氏		
ドラコン		上山	野夫氏		
ニアピン		山木	敏一氏		
ニアピン					

〈お知らせ〉議会改革アンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

## あとがき

1回目の東京五輪が開かれた60年代は、高度経済成長の時代で、三大都市圏は人手不足が深刻になった反面、農村部では人口が増えすぎて雇用の受け皿が足りなくなったようです。農村部は機械化で農業生産性が飛躍的に向上し、余分な労働力は都市部へと人口が大移動した頃です。

今は地方創生の時代、田舎への移住はコロナ禍で一層見直されており、その要因の一つには「心の豊かさ」を求める人々への解答ではないでしょうか。今年2回目の東京オリンピックでは、無観客での開催となったことで、経済的な豊かさから見れば圧倒的な赤字で終わりました。このまちに住んだら心が豊かになれる、沼田町はそんなまちでありたいと願います。

### 広報特別委員

長野時敏 篠原 暁  
上野敏夫 畑地 誉  
伊藤 淳

## みんなの広場

### 皆様のご利用 お待ちしております!



料飲店組合 山田昌希 組合長

昨年から続く新型コロナウイルス感染症により通常の営業がなかなか出来ない状況であり、各店では、売上の減少による経営難が続いています。2年連続の夜高あんどん中止、各イベントの中止、縮小、歓送迎会の中止、縮小など料飲店には死活問題であります。

しかし、沼田町は、近隣の町村のなかでも料飲店等に対する経済対策（元気応援商品券第1～4など）をスピーディーに対応していただいております。

また、10月1日緊急事態宣言が解除されました。すべてが解除とはいきませんが少しずつ経済活動が再開され、2回のワクチン接種者も増え明るい希望も見えてきました。コロナウイルスはすべて消えませんが、私たち料飲店組合も安全対策をしっかり行い、うつさない、うつらない努力をして皆様が安心して来店できるようにがんばりたいと思います。

これからも沼田町料飲店組合をよろしくお願い致します。



料飲店組合役員会 議題は感染拡大防止について